

# INTERKYOTO

インターキョウト



(哲学の道)

2002.2. No.15

社団法人京都府情報産業協会  
発行：企画広報委員会

## 社団法人の設立から1年を向かえて

(社)京都府情報産業協会が京都府から平成13年4月1日で認可を受け、早くも1年を向かえようとしています。初代会長白石雪翁氏(京都電子計算機協会会長)のもと当協会の事業理念に則り、地域社会の中で公益団体としての使命を果たし、府民に貢献すべく活動を一步、確実に実績を積み重ねています。

### 協会の事業理念

「高度情報社会」が言われて久しく、特にここ数年の情報通信技術の発達にはめざましいものがあります。このような大きな社会環境の変化の恩恵を享受出来るか否かが大きな岐路になることは確実と見られ、社会の発展と情報通信技術の進展によって情報格差はますます拡大する一方、健全な情報社会全体の阻害要因にもなりかねません。

このような時代背景の中で、社団法人京都府情報産業協会は、健全な高度情報社会を実現する上において、情報格差を出来るだけ少なくする仕組みが社会的に構造化されていなければならない必須要件と考え、情報格差の解消を目的とした対策に取り組むことが社会的な役割と考えるものです。

この基本理念のもと、情報技術を通して時代に対応した「地域への貢献」を志向し、府民生活の向上に資する

情報化促進事業、府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業、府内地域産業の情報化促進事業などの各種事業を展開して参ります。

#### 事業の柱

- (1) 府民生活の向上に資する情報化促進事業
- (2) 府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業
- (3) 府内地域産業の情報化促進事業
- (4) 社会の発展に伴う諸課題に対する情報通信技術の利活用に関する事業
- (5) 行政、団体、その他関係機関との連携・交流事業
- (6) 府内情報産業の強化振興事業
- (7) 全国情報関連諸団体との連携事業
- (8) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

以上

## (社)京都府情報産業協会の秋季総会を開催し 協会発足半年間の活動を報告

### 第一部 秋季総会



(社)京都府情報産業協会は平成13年10月23日に京都市サーチパーク4号館において秋季総会を開催し、来賓には京都府商工部産業振興課から岡本圭司課長補佐、岡田宏一主任、中小企業総合センターから茶畑保夫副所長、三宅修二主任、京都市産業観光局商工部産業振興課から大森憲課長、馬屋原宏係長、菊池章弘主任を招き開催しました。

白石雪翁会長の開会挨拶が始めにあり、来賓を代表して京都府の岡本課長補佐と京都市の馬屋原係長からご挨拶をいただきました。議決事項は特になく各委員長と事務局長から理事会活動報告(3回)、臨時総会開催報告、13年度上半期事業報告、上半期収支報告、新入会員と退会会員の報告などがされました。

特に間瀬理事の辞任による臨時総会が7月27日に平安会館で開催され後任に畑山正雄氏(京信システムサービス社長)が理事・副会長に承認され就任されました。

最後に北村昱副会長の挨拶で閉会しました。

#### 白石会長の開会挨拶(要旨)



(白石会長)

最近の経済状況はアメリカのテロ事件発生の影響や国内状況も含め、大変厳しくなっており内閣が推進する構造改革の痛みが拡大することも懸念しています。

我々の業界は経済産業省の集計報告では16ヵ月連続の成長をしている。IT不況下であるが(社)京情協の会員はこの半年間で会員増強の努力で6会員が入会されています。

社団法人認可以降の上半期の活動では、理事会、組織委員会の組織母体がようやく整い5ヶ月余りの活動で一定程度の成果が上がったとみています。しかし、協会活動における公益性の側面から、活動内容について任意団体活動ではない観点の糸口を見出すために腐心している状態にあります。本日、ご来賓の方にとって報告内容は不本意な結果になると思われませんが、この点において改めて今後とも一層のご支援ご指導をお願い致します。

### 第二部 講演会

#### 経済産業省情報化月間協賛

#### “京都情報化フォーラム”

後援：経済産業省近畿経済局、京都府、京都市  
演題：「ブロードバンドの可能性」

講師：ソニー(株) 通信サービス部事業部長  
三宅 信正 氏

講演会会場は90余名の聴講者でほぼ満席で盛況となった。主催者の当協会白石会長から開会挨拶があり、ソニー(株)様の配慮でブロードバンド実演のための会場環境設備を特別に準備いただき中継受信映像を放映し、このインフラ環境が充実し関連技術から生まれる今後の社会変化を見つめた技術的な展開の可能性や、私たちの社会生活への応用などについて広範囲におよぶ話題性に富んだ講演でした。



(三宅講師)



(講演会)

## ANIA全国大会に参加 (山口県)

—白石会長が当協会の社団法人設立を報告—

### 第三部 交流懇親会

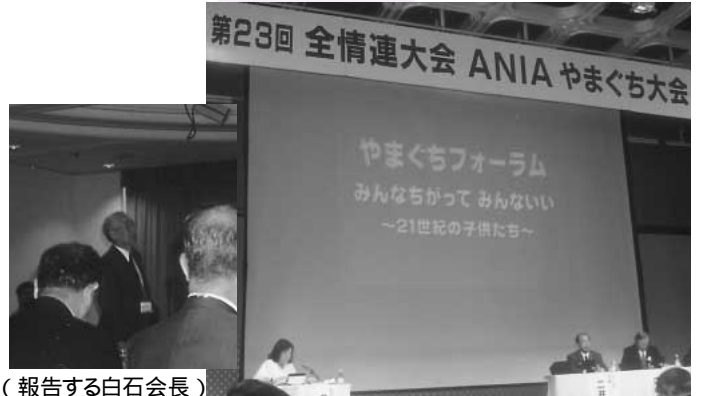
フォーラムに続き会場を移して交流会が開催されました。開会の挨拶が協会新副会長の畑山正雄氏（京信システムサービス）から、また来賓を代表して経済産業省近畿経済局情報政策課の赤井誠次課長、京都府中小企業総合センターの茶畑保夫副所長、京都商工会議所中小企業相談所の中川藤兵衛次長の方々から挨拶をいただきました。



(交流会)

#### \*ご来賓の方々\*

経済産業省近畿経済産業局 情報政策課  
赤井 誠次 課長  
京都府商工部産業推進課  
山下 晃正 課長  
岡田 宏一 企画主任  
京都府中小企業総合センター  
茶畑 保夫 副所長  
三宅 修二 主任  
京都市産業観光局商工部産業振興課  
大森 憲 課長  
馬屋原 宏 係長  
菊池 章弘 主任  
京都商工会議所 中小企業相談所  
中川 藤兵衛 次長



(報告する白石会長)

第23回全情連大会が、例年なら6月の開催時期を遅らせ「山口きらら博」に合わせて、平成13年8月2日、3日の2日間、宇部全日空ホテルを会場に開催された。

全国から約700名の参加者があり、京都府からは、白石会長、北村副会長、宇佐美事業推進委員と事務局から駒井の4名が参加し、全国の同業の方々と情報交換し京都のPRを始め懇親を深めた。

大会は、式典に続いて山口フォーラムとして「みんな違って、みんないい」をテーマに二井山口県知事、広中平祐山口大学長ら4名のパネラーによる、パネルディスカッションがおこなわれた。また続いてANIAフォーラムとして、産・官・学からITの活用事例などの講演を拝聴した。

大会に続いて開催された総会・理事会において、白石会長から平成13年4月1日付で社団法人の認可が得られ、平成5年以来の京都情報サービス産業協議会から「(社)京都府情報産業協会」として再出発した旨の報告と法人化に向けてご支援をいただいた全国の団体、とりわけ新基準後に法人化された沖縄県のご協力に対し、感謝の言葉を述べられた。

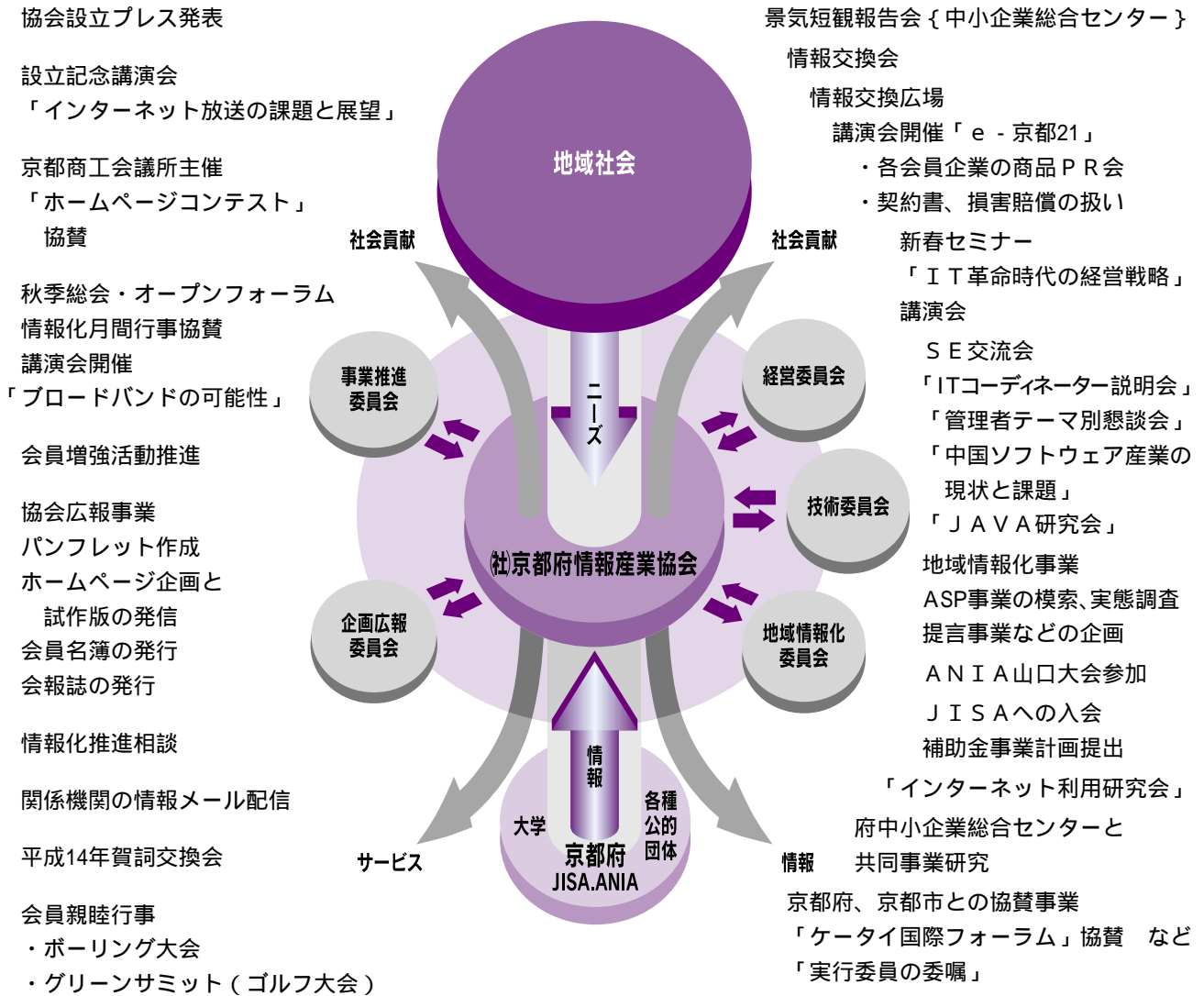
これに対し、ANIAの辻会長から、法人化が難しい情勢の中での快挙として、賞賛の言葉をいただき、会場からは大きな拍手をいただいた。(これまでの苦労が吹っ飛んだ一瞬であった。)

懇親会では、二井山口県知事や藤田宇部市長をはじめ、全国からの参加者と和やかに情報交換し、豊かな自然と維新の歴史漂う山口を楽しんだ。

尚、次回の第24回大会は、平成14年6月下旬の「よさこいソーランまつり」にあわせて、北海道での開催となり京都からも多数の参加を期待したい。

(報告：事務局 駒井一正)

## (社)京情協・組織の概略と 社団法人化初年度における主な活動内容



(財)京都産業21  
運営委員の委嘱、新事業支援機関への登録

### 各委員長

事業推進委員会



北山委員長

企画広報委員会



出野委員長

経営委員会



池田委員長

技術委員会



山本委員長

地域情報化委員会



古川委員長

## 協会初の“ 賀詞交換会 ”を開催 (平成14年)

—1月度入会の3社が紹介される—

### 関連団体との連携・交流事業企画

#### 平成14年“新春セミナー”を開催

共催：京都府中小企業総合センター  
社京都府情報産業協会  
演題：「IT革命時代における経営戦略」  
講師：同志社大学商学部  
助教授 高井 紳二 氏  
会場：平安会館 東山の間  
日時：平成14年1月15日 15:00～

当協議会の池田昭経営委員による司会進行で、はじめに共同主催者である京都府中小企業総合センターの茶畑副所長様より開会の挨拶があり、引き続き130余名の聴講者を前にして高井先生の講演が行われました。

テクノロジーとしての“IT”をいかに経営戦略に生かしていくべきか、イノベーションの歴史的考証を背景に現在のユーザー（積極的に発言する人）との関係性において融合し創造するためにIT革命時代の最中における実践的な戦略的思考や方法などについて具体性のある内容で身近なキーワードを用いて、今に求められる企業経営について有意義な講演をいただきました。



(高井講師)

### 会長年頭挨拶の骨子

協会法人組織体制の確立と  
充実の件  
協会事務局の  
専従要員体制の件  
協会財政強化のため  
来年度会費見直しの件



(白石会長)

協会行事“新春セミナー”の開催に合わせて協会の賀詞交換会が平安会館（平安の間）で行われました。

来賓には京都府商工部産業推進課から山田格参事、小林章一課長補佐、岡田宏一企画主任、京都府中小企業総合センターから茶畑保夫副所長、京都市産業観光局商工部産業振興課から大森憲課長、馬屋原宏係長、菊地章弘主任、(財)京都産業21から扇谷紳一理事、京都商工会議所中小企業相談所から伊藤準一課長、またセミナーで講演いただいた同志社大学商学部高井紳二助教授をお招きしました。

はじめに当協会の白石会長と北村副会長から挨拶があり来賓挨拶は代表して京都府の山田参事と京都市の大森課長の方々からいただきました。そののち会食を交えた交流の場が開かれ、1月度入会されたばかりの新入会員3社（オークシステム、アースインターシステム、アデコキャリアスタッフ）の各代表の方々から自己紹介があり、和やかな新年のスタートを切ることができました。



(新春セミナー会場)



(賀詞交換会)

## 協会だより

正会員 51社  
賛助会員 9社

事業推進委員の積極的な会員増強運動により今期下期にも大きな成果を得ることができました。会員の皆様も入会紹介、勧誘にご協力下さい。

新入会員の紹介

正会員 (2001年10月入会)

### 株式会社コムウェイ

代表者名: 代表取締役社長 清水 正直  
所在地: 〒600-8811  
京都市下京区中堂寺坊城町16番地2  
TEL.075(353)0888 FAX.075(353)0168  
http://www.comway-jp.com

設立日: 2001年3月  
資本金: 1000万円

賛助会員 (2001年10月入会)

### キヤノン販売株式会社 京都営業所

代表者名: 所長 赤司 州治  
所在地: 〒604-0847  
京都市中京区烏丸通二条上ル秋野々町513  
TEL.075(241)0218 FAX.075(256)0590  
http://www.canon-sales.co.jp/

設立日: 1968年2月  
資本金: 733億3百万円

正会員 (2001年10月入会)

### 株式会社システム創見

代表者名: 代表取締役社長 桑原 人司  
所在地: 〒605-0041 京都市東山区三条通神宮道東入  
3丁目東町240  
TEL.075(351)1920 FAX.075(351)1921  
http://www.system-souken.co.jp

設立日: 2001年3月  
資本金: 2000万円

賛助会員 (2002年1月入会)

### アースインターシステムズ株式会社

代表者名: 代表取締役 上野 勝  
所在地: 〒600-8108 京都市下京区五条新町西入ル  
西鋸屋町18番地  
TEL.075(353)9535 FAX.075(353)9536  
http://www.earthinter.co.jp/

設立日: 1996年9月  
資本金: 4500万円

正会員 (2002年1月入会)

### 株式会社オークシステム

代表者名: 代表取締役 岡 裕紀  
所在地: 〒615-0025  
京都市右京区西院西矢掛町32番地3  
TEL.075(325)8491 FAX.075(325)2093

設立日: 1984年1月  
資本金: 2000万円

賛助会員 (2002年1月入会)

### アデコキャリアスタッフ株式会社 京都支社

代表者名: 亀田 幸典  
所在地: 〒600-8411  
京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町612  
TEL.075(255)1986 FAX.075(255)6692  
http://www.tbrain.co.jp

設立日: 1985年7月  
資本金: 5,560百万円

●「ケータイ国際フォーラム」に協賛

### ケータイ国際フォーラムのご案内

http://www.itbazaar-kyoto.com/forum/

会期: 2002年3月26日~28日の3日間  
実施主体: ケータイ国際フォーラム実行委員会  
(事務局: 京都府、京都市、京都産業21、京都商工会議所)  
会場: けいはんなプラザ/パルスプラザ/  
京都リサーチパーク/天竜寺/  
キャンパスプラザ京都

事業内容:

- オープニングシンポジウム
- トップカンファレンス
- デジタルフロンティア京都
- トップセミナー
- 技術シンポジウム
- ビジネス・ITライフスタイルプラザ
- ビジネス・ライフスタイルシンポジウム
- コンペティション(ビジネスプラン・デザイン)

後援: 総務省、経済産業省、国土交通省他(予定)

退会会員(2001年12月付)

(株)カワイプロ様

### 編集後記

21世紀の幕開けは、一向に上向く兆しの見えない景気に加え、アメリカの同時多発テロや狂牛病騒ぎなど暗い出来事の多い一年でした。そのような中で、当協会は4月に認可設立され活動を開始初年度として事業推進の基盤整備に重点を置き取り組んでまいりました。その活動内容を本誌4ページに掲載いたしました。時間の経つのは非常に早く、新年度事業計画、新年度予算を審議する総会が近づいてまいりました。2年目の平成14年度は、組織体制の充実、事務局の専従要員体制とこれらを支える財政基盤の強化が重要な課題であります。企画広報委員会も協会の諸事業を皆様に広く知っていただくとともに参加いただけるようホームページの本格的な運用、協会ニュースのタイムリーな発行、内容の濃い協会報の誌面作り等、一層広報活動の充実を図ってまいりたいと存じます。会員企業ならびに府民の皆様には、今年も協会事業に対し積極的な参加とご意見をお寄せいただき、本協会の発展にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

(企画広報委員長)